

学校経営評価アンケートの結果について

「保護者アンケート」「生徒アンケート」「教職員アンケート」「学校評議員からの評価」を行いました。

今回頂いた意見、要望をこれからの学校運営に生かし、保護者や地域の方々と協力しながら、よりよい教育活動を進めていきたいと考えています。今後ともご協力をお願いします。

【保護者アンケート 考察】

- ・今年度よりマークシート方式を採用した。
- ・全校家庭数の90%の回答を得ることができた。
- ・全体的な傾向としては、学校教育についておおむね理解してもらっていると感じる。
- ・特に肯定的な回答をいただいた項目については、上志津中学校でも力を入れている点であり、さらに充実させていきたいと考えている。
- ・学習に関する面では、保護者と協力しながら高めていく必要性を感じる。
- ・特に生徒指導面では、肯定的でない回答が少数意見であっても、注意を払って今後の教育活動に生かしていきたい。

○肯定的な回答

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が85%以上のものが8項目ある。
 - ・その中でも特に肯定的な回答が以下の4項目である。
- | | |
|-----------------------|-----|
| 「15 生徒が主体となり充実した活動」 | 96% |
| 「16 健康で安全な生活が送れるよう配慮」 | 92% |
| 「18 服装や礼儀への適切な指導」 | 92% |
| 「23 楽しく学校生活が送れている」 | 94% |

○肯定的な用が比較的低かったもの

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が70%以下のものが3項目あり、すべて学習に関する項目である。
- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 「5 家庭学習の習慣が付くような取り組みを行っている」 | 57% |
| 「13 家庭でも予習または復習などの習慣が付くような手立てを行っている」 | 51% |
| 「14 定期テストや実力テストに向けてしっかり取り組んでいる」 | 62% |

【生徒アンケート考察】

- ・全体的な傾向としては、おおむね肯定的に回答している。
- ・「3 提出物」「6 家庭学習の習慣」では肯定的な意見が多い。この点は保護者との認識の違いがあるので、頑張ったことを評価しながら指導を進めたい。特に提出物については各学年とも指導を繰り返しているので、生徒自身が肯定的にとらえていることはよいことだと思う。
- ・「7 先生方は授業を工夫するなど熱心である」「8 先生の話はわかりやすい」の項目については、学校として改善の余地がある。
- ・「33 悩みや困ったことがあるときは先生に相談することができる」については、担任だけでなく他の先生方やカウンセラー、外部の相談機関等も利用しながら、生徒が悩みを抱え込まないですむような体制を整えていきたい。

○肯定的な回答

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が 85 % 以上のものが 9 項目ある。
 - ・その中でも特に肯定的な回答が以下の 4 項目である。
- | | |
|-------------------------------|------|
| 「32 先生方からの基本的な生活習慣・ルールマナーの指導」 | 95 % |
| 「6 家庭学習の習慣が身についている」 | 92 % |
| 「25 進路の情報や指導は十分に行われている」 | 90 % |
| 「29 学校にいじめや差別はないと思っている」 | 90 % |

○肯定的な用が比較的低かったもの

- ・「あてはまる」「おおよそあてはまる」の回答が 70 % 以下のものが 7 項目ある。
 - ・その中でも特に肯定的でない回答が以下の 3 項目である。
- | | |
|---------------------|------|
| 「17 服装や身だしなみが整っている」 | 54 % |
| 「16 その場に応じた判断・行動」 | 51 % |
| 「22 仲間と協力して活動している」 | 59 % |

【教職員アンケート考察】

- ・項目によって差はあるものの、職員はおおむね学校教育目標が達成できていると感じている。
- ・学校教育目標の具現化に向けて、指導計画や学年学級目標を常に意識して作成していくことが必要である。
- ・学習指導に関しては、おおむね達成できているが、学習に対する生徒の興味・関心。意欲を喚起し、生徒主体の学習活動等の授業改善については、さらに研究を深めてい

く必要がある。

- ・学校行事に関しては、達成度が高いものの精選については今後も検討していく必要がある。

- ・生徒指導面では、本校の課題としてあげられる「4つの約束」が適切であり、保護者や生徒にも伝えられている。

- ・生徒のあいさつや話を聴くことについて職員の評価は比較的低い。生徒自身のアンケートでは話を聴くことについては85%が肯定的な回答をしている。聴き方についての目指す姿の確認が必要である。

- ・今年度課題にしてきた、組織的な生徒指導体制の構築については、連絡・相談・報告に関わる質問に対する回答が上がっていることから、かなり高まってきたことがわかる。

- ・地域との連携については今後も継続していきたい。

【学校評議員等からの評価】

- ・学校の取り組みが成果として出ている。

- ・携帯、スマホに関する学校の取り組みはよい。廊下の掲示物もよかった。

- ・先生方が提出物や家庭学習の指導を繰り返し行ってくれている。その成果が出ていることが子どもの様子を見ていて感じる。

- ・先生方の労働環境が心配である。先生方を支える体制作りを地域、保護者を交えて作っていきたい。

- ・学校運営委員会を立ち上げる予定であるが、学校が困っていることなどをお願いし、学校運営に協力してもらう機会としていくのがよいのではないかと。

- ・子どもの学力向上について、先生方は多忙なので、ボランティアによる基礎学力の向上のための補習を行っていくことを検討していくのはどうだろうか。

- ・国語ができないと基礎学力も上がらない。現在行っている「読み聞かせ」や「朝読書」を大切にしてほしい。

- ・いじめの問題は保護者の90%がないといっても、周りの大人が敏感に見ていく必要がある。

- ・道徳の授業を通して「相手の心を知る」ということを学んでもらいたい。意見の交換する場面も多くあるとよいと思う。

- ・施設や設備については、危険があると思われるところは素早く調査し、対応することが必要である。

- ・不登校については、保健室やフラワー教室を利用して「学校に居場所がある」という働きかけを続けてもらいたい。